34　ヨハネ 11 章 1-27 節

1、「内容観察」この個所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

今日の箇所は、ベタニヤのラザロが病気にかかっていて死にそうだ、という知らせが届いたことから始まっています。イエス様はこの時を通して大切な真理を私たちに教え、また疑いようもない「メシヤ」「キリスト」としての栄光を現わされるのでした。

2、イエス様はラザロが病気だと聞いて…

・どういわれましたか？（4）

※つまり、イエス様はラザロが死ぬことを予知しておられ、それを通して神の栄光を現わすことを意図されていたことが分かります。

・それでどうされましたか？（6）

※あえて遅れて、完全に死ぬのを待たれたことが分かります。

・マルタ、マリヤから見たら、死なないように早く来て、癒して欲しいとの願いがあったはずです。しかしイエス様はあえてその逆の反応をされたのでした。あなたにも神様があなたの思い通り願いを聞いてくださらないという不信の思いはありませんか？（語り合ってみましょう）

3、人の「死」について、イエス様のお考えはどのようなものですか？（11-15）（Ⅰテサロニケ 4:13-18）

※人は死んで終わりではないのです。生きているのです。（25）そのことを覚えて、今を生きましょう。

4、イエス様がベタニヤに来た時にはラザロの死後どれほどの時間（日数）が経っていましたか？（17）

※私たちはこの後、イエス様がラザロを生き返らすことを知っています。しかしそれを知らない人々にはその日数はどのような意味合いをもたらすものなのでしょうか？意見を出し合ってみましょう。

5、兄弟の死を悲しむマルタにイエス様は二つの言葉をかけられます。。

・(23)

それに対してマルタの答えは何でしょうか？（24）

・(25、26)

※イエス様は今もあなたに「あなたは、このことを信じますか」と問われています。何と答えるでしょうか？

6、今日の箇所を通して、神様（イエス様）はどのようなお方でしょう。またどんな約束、模範がある?またどんな注意、戒めがある?